

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(島根2号機 設計及び工事計画)【23】

2. 日時：令和3年11月19日 10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室(TV会議システムを利用)

4. 出席者(・・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官、忠内安全管理調査官、齋藤企画調査官、義崎管理官補佐、植木主任安全審査官、宇田川主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、岩崎安全審査官、照井安全審査官、大野安全審査専門職、服部(靖)安全審査専門職、藤田審査チーム員、日南川技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長(原子力管理) 他7名

中部電力株式会社

原子力部 設備設計Gr 主任

電源開発株式会社

原子力部 安全総括室 担当

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁のテルイですそれでは島根 2 号炉の設工認の補正の概要ということで、ヒアリングを始めたいと思いますが、早速ですけど、中部電力から説明をお願いいたします。
0:00:12	はい、中国電力のアラシバです。それと本日はお時間をいただきましてありがとうございます。
0:00:18	それでは島根 2 号機の工事計画の認可申請補正の概要について本日御説明させていただきます。
0:00:26	ton 茶の 3 回目のヒアリングということでこれまでいただきましたヒアリングでのコメント回答、これを中心にですね、ご回答させていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。御説明と説明のほうはナイトウのほうで説明させていただきます。
0:00:44	。
0:00:48	中部電力の内藤です。
0:00:51	まずは資料確認から行います。本日の資料 4 種類ございまして、NS にほか 005 回 01。
0:00:59	NS にほか 001 回ゼロに
0:01:03	NS に放火 002 回ゼロに
0:01:08	NS にほか 003 回 02 と 4 種類でございます。
0:01:13	資料提出済みがすべて 11 月 16 日のものになります。
0:01:18	なお、審査会合用の資料としましては、資料番号 NS にほか 001 のパワポ資料のみを考えておりますが、前回ヒアリングで提出した資料一式変更内容もございまして、説明させていただきたいと考えております。
0:01:36	説明順につきましては、NS にほか 005 回 01 の回答整理表に沿って、前回ヒアリングのコメントに対する回答について関連資料を用いて説明いたしますが、まずは、
0:01:51	NS にほか 001 のパート関係のコメントから説明したと。
0:02:00	2、八のその他のコメントを説明したいと思います。まず、No.7、
0:02:05	コメント内容で復水器の耐震評価について、先行電力と。
0:02:11	同じ図書構成評価結果等を示す方針になる旨を説明すること。
0:02:16	に対する回答としまして A 溢水防護に関わる申請施設の耐震性についての計算書に関わる補足説明資料で説明する旨を追記いたしました。
0:02:28	あと次ページめくっていただいて、ナンバー 9 も関連したコメントですのであわせて説明したいと考えます。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	コメント内容、その他の詳細設計に関わる主な説明事項について、目的背景がわかるよう概要説明すること。
0:02:46	に対する回答として、概要を整理したものをスライドを追加しております。
0:02:52	資料への反映箇所につきましては、NS堤ほか001のパーク資料の30ページをお願いいたします。
0:03:12	30ページにつきましては29ページの第4表で一覧でお示していたその他の詳細設計に関わる説明事項につきまして一件一葉のスライドを追加しているものでございます。
0:03:25	30ページのほか、33ページまではスライド新規のスライドになっておりましてスライドの題目のところを赤字で示させていただいております。
0:03:36	まず4-1。
0:03:39	配管系に用いる新装置の許容荷重の設定。
0:03:43	概要につきましては、
0:03:45	既工認での支持装置、Eの評価は配管系の地震応答解析で得られた配管反力があらかじめ設定した設計上の基準値を満足することで耐震性を確保することとしておりました。
0:03:59	今回工認では配管系の地震応答解析で得られた配管反力があらかじめ設定した設計上の基準値を超える場合フローで赤色の線で示しております通り弱4601及び既往知見も踏まえまして、
0:04:16	詳細評価として構造部材の
0:04:19	影響度評価及び機能部品の含む機能確認を実施することといたします。
0:04:26	今後の説明予定としましては、装置の健全性について第2回補正で提出の計算書等にて2月以降に説明予定でございます。
0:04:35	31ページをお願いいたします。
0:04:39	A4の2原子炉本体の基礎の応力評価に用いる解析モデルの変更。
0:04:45	概要につきましては、既工認において、原子炉本体の基礎は90°モデルを用いて評価を行っておりましたが、CRD搬出入用開口部等非対称に存在する開口部を精緻に評価することを目的に、
0:05:01	開口部をモデル化した360°のモデルに変更することで、
0:05:07	こう考えております。
0:05:09	今後の説明予定としましては、耐震評価結果に加えまして、モデル化の方法及び範囲並びに入力荷重条件の妥当性につきまして、
0:05:20	計算書等で2月以降に説明予定でございます。
0:05:24	続きまして32ページをお願いいたします。4-3、復水器水室出入口弁の地震時復水器の影響です。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:34	概要につきましては、タービン建物への津波流入防止及び地震による溢水量低減を目的に、復水器水室出入口弁を閉止する必要があり、地震時に、
0:05:47	復水器の移動や水質落下により水室出入口弁に影響がないことを確認いたしますが、精緻な評価を行うため、復水起動水質基礎等に三次元FEMを適用いたします。
0:06:03	またきいサポート細管支えた及び給水加熱器摺動お客の滑りについて摩擦を考慮した時刻歴応答解析を行います。
0:06:14	今後の説明予定につきましてはコメントNo.7の該当箇所になりますが、被水防護に係る申請施設の耐震性についての計算書に関わる補足説明資料にて、2月以降に説明予定でございます。
0:06:28	33ページをお願いいたします。
0:06:31	4 - 4 制御棒破損燃料貯蔵ラック等における排除水位堆積するよう減産の適用です。
0:06:40	内容としましては、使用済み燃料貯蔵プールに設置される制御棒破損燃料貯蔵ラック等の耐震設計におきましては、従来より、二重円筒モデルの考え方に基づき、流体の
0:06:55	d項による影響付加質量を考慮しておりますが、基準地震動のレベル増大に伴いまして、流体と構造物の相互作用による影響配慮雨水耐水好き質量につきましても考慮することを説明いたします。
0:07:11	今後の説明予定としましては排除する堆積する減産を考慮した計算結果帯その妥当性につきまして、第2回補正で提出の計算書にて、1月以降に説明予定でございます。
0:07:25	NSにほか005回01の回答整理表に戻っていただきまして、2ページ。
0:07:33	のコメントナンバー10、
0:07:38	コメント内容につきましては商材衝突解析について、漂流物の
0:07:46	衝突形態を踏まえた評価内容についても、
0:07:50	記載を検討することと、
0:07:52	ここ誤記ございまして表を評価する内容と書いておりますが評価内容、
0:07:58	が発生です。申し訳ございません。
0:08:01	回答としましては、衝突形態の不確かさに対する評価についても実施することを追記しております。
0:08:10	NUSにほか001回02の15ページをお願いいたします。
0:08:20	赤字で示しているところですが、遮へい衝突解析につきまして、船舶、
0:08:27	の衝突形態の不確かさについても考慮することを説明いたします。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:39	NSにほか 005 の 01 に戻っていただきまして残っているコメントとして、ナンバー
0:08:47	コメントNo.8、
0:08:49	その前に失礼いたしました。その前にPowerPoint関係NSにほか 001 回 02 のその他の修正点について、
0:08:59	説明させていただきたいと考えます。
0:09:02	NUSにほか 001 回 02 の 1 ページをお願いいたします。
0:09:10	目次につきましては 1 ポツと 3.3 ポツを追加しております。
0:09:16	2 ページをお願いいたします。
0:09:19	先行プラントの記載を参考に島根 2 号機新規規制基準への適合性確認に関わる経緯のスライドを追加させていただいております。
0:09:30	工事計画認可につきましては、2013 年 12 月 25 日に申請を行い気候設置変更許可について審査をいただいております。本年 9 月 15 日、
0:09:42	リスクの設置変更許可の内容を踏まえまして、10 月 1 日に
0:09:47	工事計画認可申請の補正一部補正を実施しております。
0:09:52	3 ページをお願いいたします。
0:09:59	第 1 回補正の実施日を反映しております。
0:10:04	また第 1 回補正の強度計算書図書数につきましては前回ヒアリング時 119 当初でしたが今回 113 図書に変更しております。これは補正実績でございます。これにつきましては
0:10:19	強度計算書内の評価対象の設備単位で、図書数を数えていたものがございまして、補正の際にそれらをまとめて 1 図書、
0:10:30	としたことなどにより、当社数が減っているものでございます。母数の変更につきましても同様の理由になります。
0:10:37	あと耐震計算書の母数の変更につきましては、先行実績を確認しまして、個別で耐震計算書を作成するものがあったことなどにより、1 図書前回 483 だったんですが、今回は 484 図書に母数総数を変更しております。
0:10:55	4 ページをお願いいたします。
0:10:59	第 2 回と第 3 回の補正時期を 1 ヶ月手段をさせていただいております。
0:11:06	また設置許可を設定根拠
0:11:10	等、溢水防護に関する説明書のうち 1 図書、
0:11:16	について補正会を第 2 回から第 3 回にスライドさせております。
0:11:21	また、耐震強度計算書関係は第 2 回補正の
0:11:26	前回のヒアリング時の図書数が

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:31	設計上重要な設備を設置する施設の耐震性に幹線説明書建物構築物関係になります。これが前は 11 図書、
0:11:41	各施設の耐震計算書が前は 127 図書、
0:11:45	2 階 2 階のところですね。
0:11:47	強度計算書が前回お 83 図書で提出して示してはいたしましたが、それぞれ、図書数が減っております。
0:11:56	ここでホームページの補正図書数に誤記がありまして、説明させていただきます。
0:12:04	各施設の耐震計算書、
0:12:07	についてですが、第 2 回が 80 図書と記載しているんですが、正しくは 79 ヶ所、
0:12:13	になります。それに伴いまして第 3 回の核施設の耐震計算書が 182 ではなく、103 は 382 ではなく、383 図書になります。
0:12:25	具体的な図書につきましては資料番号
0:12:30	NS にほか、
0:12:32	003 の
0:12:34	下位 02 のスケジュール。
0:12:36	で、
0:12:38	説明したいと思います。
0:12:41	スケジュールの 9 ページ。
0:12:44	お願いいたします。
0:12:51	9 ページの 6 - 2 - 10 - 2 のシリーズ、浸水防護施設の耐震性に関する説明書関係ですが、
0:13:02	その中で青色ハッチングしているところですが、6 - 2 - 10 - 2 の重合貫通部止水処置の耐震性についての計算書、
0:13:12	この補正会が今 2 回となっておりますがここは 3 回の
0:13:17	誤記でしたので訂正させていただきます。
0:13:20	なお被水部、貫通部止水処置の強度計算等は今回 2 から 3 階に変更しているんですが、ここはちょっと修正が漏れておりました。申し訳ございません。
0:13:39	NS にほか 001。
0:13:43	の会 02 の
0:13:47	5 ページ。
0:13:49	に戻っていただきまして、
0:13:53	主な説明事項の抽出項目としまして、3 -
0:13:58	今回申請内容における設置変更許可審査時からの設計変更内容、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:05	追加させていただいておりますのちょうど該当項目につきましては説明いたします。
0:14:11	6 ページは変更ございません。
0:14:15	7 ページから 10 ページは第 1 表の設計方針の説明時期、
0:14:22	及び関連図書の補正会などを修正しております。
0:14:32	続きまして 11 ページ。
0:14:36	12 ページ 13 ページは、説明時期の変更。
0:14:40	になります先ほどの大京と整合しているものでございます。
0:14:45	14 ページをお願いいたします。
0:14:49	こちら建設工認と前回記載してもですが、既工認として、他の資料、この
0:14:56	庄内の資料館の整合等を図ったものでございます。
0:15:01	2 ポツの今後の説明予定のところですが、前は J C 応答解析等の方針は結果に先行して説明することで記載していたのですが、今回結果と一緒に
0:15:14	方針も説明したほうが良いと考えまして、
0:15:17	方針と結果を合わせて 2022 年 4 月以降に説明予定とさせていただきます。
0:15:27	15 ページは先ほど説明させていただいたので飛ばさせていただきたいと言って 16 ページをお願いいたします。
0:15:36	今後の説明予定につきまして、30 粘性ダンパ等単軸粘性ダンパに書き分けた記載に修正しております。
0:15:49	注 7 ページは、
0:15:52	説明時期の変更、18 ページにつきましては、
0:15:58	地下水位低下設備については、既設と新設が少しわかりづらい記載でしたので、随一も含めてわかるように修正しております。
0:16:09	また図 1 の中の注記にこう言って、既設に関しまして各施設の設計地下水の設定について、地下水位低下機能に期待しないこと。
0:16:22	新設に関しまして、屋外重要土木構造物等の土木構造物の設計地下水位の設定については、地下水低下機能に期待しないこと。
0:16:34	を追記しております。
0:16:39	19 ページから 25 ページまでは説明時期の変更等になります。
0:16:48	26 ページをお願いいたします。
0:16:52	26 ページから 28 ページは新規のスライドになりまして、設置変更許可申請許可申請の審査から詳細設計の進捗により、
0:17:04	設備設計を一部に見直しているものでございまして、計装関係の 2 件を追加させていただいております。
0:17:12	内容につきましては 27 ページをお願いいたします。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:16	3 - 1。
0:17:18	D/W水位計設置高さの変更です。
0:17:23	概要としましては、原子炉格納容器床面及びベント管の施工誤差を踏まえまして、D/W水位計の原子炉格納容器床面プラス 1.0mの設置高さをプラス 0.9mに変更するものでございます。
0:17:40	当該水系はペDESTAL代替注水系による注水停止の判断の目的にベント管下端高さへの設置を計画しておりましたが、
0:17:51	ベント管等の構造物には施工誤差が
0:17:56	施工誤差があるため、ベント管の下端高さは必ずしも原子力格納容器床面プラス 1.0mでないことを確認いたしました。
0:18:06	+ 1.0メートルより低いベント管、下端からサプレッション・チェンバへ水が流れ込むと検出点まで水位が上昇せずに検知はできないため、
0:18:18	有効性評価に影響がないことを確認した上で施工誤差を考慮しても確実に検知できる設置高さに変更することといたしました。
0:18:28	28 ページをお願いいたします。
0:18:31	3 - 2 は、格納容器酸素濃度 B 系及び格納容器水素濃度 B 系、計測範囲の変更でございます。
0:18:40	概要としましては格納容器酸素濃度 B 系及び格納容器水素濃度 B 系につきまして格納容器ベント判断や可燃限界付近の適切な監視能力を確保するため、ナローレンジの
0:18:54	計測範囲を変更させていただくものです。
0:18:58	格納容器ベント判断基準である酸素濃度 4.4 ボリューム% 及び可燃限界である水素濃度 4.0 ボリューム% 前後を既存設備の設計を変更せずになるうレンジで 0 から 5 ボリュームパーセントで、
0:19:15	計測する計画でございましたが、オレンジの計測範囲上限付近では、すでに自動でワイドレンジに切り替わっており、上記の濃度を
0:19:26	ワイドレンジで計測する可能性が入ることが判明しております。
0:19:32	ワイドレンジはなおエンジンに比べまして、計測誤差が大きく、格納容器ベント判断や可燃限界付近の関心適していないため、
0:19:42	ベンチの自動切換を考慮しても確実になるうレンジで計測可能となるよう、
0:19:48	表 1 に示しておりますが、格納容器酸素濃度につきまして 0 から 10 ボリューム%
0:19:55	格納容器水素濃度につきまして 0 から 20 ボリューム%
0:19:59	の計測範囲に変更いたします。
0:20:03	なお閉系によるにつきましても同様に計測範囲を変更いたします。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:09	主な説明事項の先ほどの 3 - 1 は、第 1 回補正で反映済みの内容でナンバー3 - 2 は何か補正で反映予定でございます。で量研につきまして、
0:20:21	計測装置の関係の説明書に関わる補足説明資料にて、
0:20:28	本年 12 月以降に説明予定でございます。
0:20:33	29 ページにつきましては、設計方針の説明時期等関連図書の補正会の変更でございまして、30 ページ以降は説明済み。
0:20:45	でございます。
0:20:47	NSに
0:20:49	ほか 005、
0:20:51	の回答整理表に戻っていただきまして、2 ページ。
0:20:57	コメントNo.8、
0:20:59	コメント内容No.120、121 の概要について、
0:21:06	許可審査会合のシミュレーションの内容を盛り込むこと。
0:21:11	に対する回答として、説明概要欄においてシミュレーションによる確認を実施することを追記しております。
0:21:21	NSにほか 002 会議室 02 の 8 ページをお願いいたします。
0:21:33	コメント
0:21:35	ここで 118 から 121 まとめたところになりますが、概要欄。
0:21:41	工事計画認可申請における説明方針のところですが、赤字で示しておりますが、
0:21:48	シミュレーションとして三次元静的FEM解析による再現計算を追記させていただいております。
0:21:59	どうNSにほか 002 回 02 の申し送り事項一覧でほかに修正した箇所につきましては、
0:22:07	3 ページのところ、
0:22:10	コメント
0:22:12	57 から 59 のところにつきましては、
0:22:15	外筒しようとして設置変更許可のまとめ資料の
0:22:20	該当部分を修正しております。
0:22:26	夫は
0:22:29	10 ページ。
0:22:31	お願いいたします。
0:22:36	20 ページのコメントNo.143。
0:22:41	耐津波設計関係で五条のまとめ資料に記載していたものになりますが、
0:22:47	概要なんです、循環水ポンプの出口弁及び復水器水室出口弁

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	につきましては全前ページなのですが、津浪。
0:23:00	来週時に、
0:23:02	来週までに閉止ですね。来津波来襲前に閉止しているため、津波による荷重が作用することから、津波時にも閉止状態を保持できる設計とし、評価方法について説明することで、
0:23:18	続いて追記させていただいております。
0:23:21	本内容につきましては、津浪の配慮に関する説明書の補足説明資料で説明させていただくことで考えております。
0:23:32	最後にNSにほか 003 回ゼロに
0:23:38	の
0:23:40	説明可能時期詳細スケジュールに関する修正箇所、
0:23:45	御説明いたします。
0:23:48	改定分は朱記で示しておりますが、左上の反映を見ていただくとわかりやすいかもしれませんが、第 1 回補正実績の反映
0:23:58	下参画の塗り潰し来館補正のところ、
0:24:03	反映しております。
0:24:04	第 2 回補正第 3 款補正の時期の変更した参画の白抜きのところですが、この 1 ヶ月ぐらいでさせております。
0:24:13	次にヒアリング実績の反映四角の塗り潰しを反映しております。あと年内につきましてはヒアリング想定当社で考えている希望になりますが、ほぼ四角の白抜きで追記させていただいております。
0:24:31	年明け以降に関しましては、ヒアリング想定
0:24:34	資格、
0:24:36	不確定が大きいので記載しておりませんが、当社として説明上考えた上で、ヒアリング説明知っ期間。
0:24:46	の破線をスライドさせておまして、
0:24:49	コメント回答期間を踏まえて、破線を伸ばしたのもございます。ほとんどが
0:24:56	ヒアリング想定期間は赤字でスライドさせております。
0:25:03	主な説明時期の説明。
0:25:07	説明可能な主な説明事項の説明可能です。
0:25:12	時期につきましては変更しております。
0:25:15	この変更NSにほか 001 のパワポ資料等整合させているものでございます。
0:25:23	また補足説明資料につきましては先日耐震基本方針のヒアリングの際にオンスケジュールに追加するよう御指示いただいたので

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:34	耐震関係だけでなくプラント関係は強度関係も含めて、当社で作成予定のすべての補足説明資料を関連図書の下の方に追加しておりまして、提出可能時期に丸を記載しております。
0:25:50	耐震関係は先日提出しました。補足説明資料リスト耐震関係の
0:25:57	提出可能時期を反映したものでございます。
0:26:02	その他修正点としましては、要目表、
0:26:06	第2回のところ記載内容の追加として常用電源設備の一部を追加させていただくこととしております。
0:26:15	説明以上になります。
0:26:19	はい。
0:26:21	規制庁のテレイです。ありがとうございます。
0:26:24	本件ヒアリングは、
0:26:26	最初の33回目っていうお話があります再処理が補正前にやったものですので、補正5としては初めてにはなるので補正を踏まえた修正されてるということで理解をしておりますけど、ちょっと先に決定的なところで私のほうから何点か確認をさせていただきたいんですけど。
0:26:45	まずその補正時期がひと月程度遅れているということだと思うんですけど、その理由について説明していただけますか。
0:27:00	中国電力の内藤です。補正遅れた理由ホームなものとしましては、
0:27:07	設計及び床応答スペクトル、
0:27:10	第2回で、
0:27:12	1回でも出してるものがありますけど、第2回でも出すもの、当社として計画しているものがございまして、具体的に言いますと、取水槽等なんですけど、それがちょっと11月の段階では、
0:27:26	ちょっと出せない。
0:27:27	ちょっと間に合わないというものがございまして、12月、
0:27:30	で、
0:27:31	それとさせていただいております。
0:27:37	以上です。
0:27:41	あと、中国電力アラシバです。少し補足させていただきますと、あとは基本的に先行プラントの審査の状況を踏まえた形で当社もそれを眺めながらということになりますので、そこについての評価の時期っていうことが少しスライドした経過などかっていうことで考えてございます。以上でございます。
0:28:02	規制庁の鳥居です。先行他社の状況を見ようとして少しパルスの作成に時間を要するということからいたしましたそれからちょっと4ページ目のところ

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、言葉の説明なかったと思うんですけど、いっすEの一部が第2回から第3回に、
0:28:20	移動してるんですけど、これはどういった理由などで車両中部電力ナイトウです。説明のほうで、
0:28:27	少し触れただけなのでちょっとわかりづらかったかもしれません。すいません。
0:28:30	これは
0:28:32	溢水影響溢水防護に関する説明書のうち溢水影響に関する評価というものでSA設備の評価、溢水評価に関するものです。
0:28:45	ちょっと数ものでございましてあと耐震補強などを現場の工事進捗の反映
0:28:50	をするのに、
0:28:52	その現場確認等に時間を要したこともあり、評価に時間を要しているものでございます。以上です。
0:28:58	。
0:28:59	はい、わかりました。それでちょっと、それから聞いて確認している以上、ですので他の皆さん何か質問等ありましたら御説明じゃなくしてください。
0:29:10	規制庁のナグラです。
0:29:14	7ページのところ、
0:29:17	ここは詳細設計申し送り事項の分類、
0:29:22	すみません6ページ7ページですね、この表ですね、第1表なんですけど。
0:29:30	関連図書の補正会ということで設計方針及び設計結果に言及したと。
0:29:35	この趣旨は、
0:29:37	各申し送り事項の各項目に関して、
0:29:43	設計方針だけでは議論し尽くせないと。
0:29:47	設計結果も含めて、一つの
0:29:52	内容が一つの項目の内容が確認できると、そういう趣旨で、補正の補正から両方書いてもらったんですけど。
0:30:01	その場合に、それを左側の設計方針の説明時期って、
0:30:06	書いてあるんですけどこれは設計方針及び設計結果の説明時期の両方書かないといけないんじゃないでしょうか。
0:30:14	それで、一致しているもの、1-1-2、1-3とか、
0:30:21	一致しているものはいいんですけど、例えば1-5、8ページの1-5とかでいくと。
0:30:27	設計方針としては12月に説明可能になるかもしれないんですけど、設計結果については、遅れると。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:36	ということになりますので、そういう意味での設計結果等が設計方針と設計結果で説明可能時期が異なるものについては、それがわかるようにしたほうがいいのではないかとというのが1点。
0:30:51	それからもう1点は、
0:30:54	この説明時期と書いている時期が何を指しているのかということを確認したいですというのは、
0:31:02	補正がなされて、取りまとめ資料というか補足説明資料、
0:31:08	がそろえられて説明可能になっている時期、これをここに書いているのか。
0:31:15	ただ単に補正にあわせてその時期を書いているとしたら、やっぱり補足説明資料がちゃんと出てきて、
0:31:21	それとセットで説明できる時期をここに書くべきだと思うんですけど、そういうふうになっているのか。
0:31:28	2点です。質問席。
0:31:31	よろしくお願いします。
0:31:34	中国電力の内藤です。沼津一つ目の御指摘につきましては、
0:31:40	もともと結果がちょっと遅れるものにつきましても、設計方針については先立って説明させていただきたいという意図では書いてたんですが、
0:31:52	ナグラさんの指摘される御指摘の通り、両方書いたほうがわかりやすいというのは、その通りだと。
0:31:59	思います。後ろの一件一葉のほうでは両方書いているんですが、この表ではちょっと抜けていたということになります。
0:32:07	はい。
0:32:08	はい。
0:32:10	あと2点目につきましては、
0:32:15	この設計方針の説明時期につきましては、補足説明資料が相当段階という認識でございます。
0:32:23	ちょっとそれに関連しましてちょっと
0:32:30	ちょっとこちらからちょっと追加でお話させていただいてもよろしいでしょうか。
0:32:37	今回は前回ヒアリング時からの変更点がわかるように、前回同様の設計方針の説明時期を示す。
0:32:46	形の資料のスタイルとさせております。
0:32:50	もらいました。
0:32:52	だから先行の審査会合の資料確認させていただきますと、資料の提出時期のみを

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:00	示しているスタイルになっておりまして、ただ当社ここ記載している設計方針の説明時期につきましては、ヒアリングでの説明時期を示しておりまして、
0:33:14	ちょっと審査会合で、
0:33:16	ヒアリングの説明時期を示すのはちょっと
0:33:20	適してるかどうかというのがちょっと
0:33:24	ちょっとそれはできてないんじゃないかなと、当社側としては考えておりまして所削除したい方向で考えておりますこの設計方針の説明時期につきましては、
0:33:35	関連図書の補正かんとことについては、提出可能時期、
0:33:40	とさせていただきたいなど。
0:33:42	考えております。以上です。
0:33:50	規制庁のナグラです。
0:33:56	何だろう、会合にかけるかっていうのは、中身次第、
0:34:01	論点とかの重さとか、それに対して事実確認をどこまでできるのかでその事実確認をできた上で、
0:34:11	審査会合で議論すべき技術的専門的な部分での論点、それが明確になった段階で、おそらく会合にかけるということになります。
0:34:23	従って会合時期を書くのはそれは多分できないというのはそれはわかりませんが説明可能時期っていうのは、それは私は記載してもいいのかなと思ってるんですけど。
0:34:37	うん。それは事業者の何ていうかな、効率的な説明を考えた上での、ちゃんと資料を準備しますという決意でもあるので、そういう意味で、そういったところはちゃんと公開の会合で説明したほうがいいのではないかというふうに考えます。
0:34:56	。
0:34:57	規制庁のテルイです。
0:34:59	ナグラさんのおっしゃる通りじゃそのヒアリングの時期だから会合の資料適さないってことはなくて別の中国電力として説明可能ですという時期を表明することは別に何らおかしくないことですので、断層の長さは先行他社がどうだからということではなくてですね中国電力が
0:35:18	その会合の場で説明するものとしてきちっと考えて作っていただければいいと思います。
0:35:27	中国電力の話です。了解いたしましてその後以降に沿った形で当社のほうも
0:35:34	説明する時期をですね、記載させていただこうと思います。ありがとうございました。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:42	。
0:35:44	規制庁富田です。今ちょっとそのスケジュールの話にもなった部屋の先ほどの会合ではこのパワポ資料だけって
0:35:51	おっしゃってたんですけど、ちょっと潜航例えは箇所とか等にとスケジュールは
0:36:00	今ついてるこの細かいお願いしてください。31枚ぐらいで潜航つけてもらったのでそれはそれをつけてもらうとその主要な論点だけじゃなくて全体像が見えるのですね、それはずっと別途作成をして、
0:36:16	介護にはつけていただきたいと思います。
0:36:21	中国電力の内藤です。この選考で諸会議ではなかったんですがスケジュール審査会合で提示しているというのを確認しておりますので、それを確認した上で
0:36:34	資料を作成したいと思います。以上です。
0:36:37	規制庁とりあえずよろしくお願いします他何かございますか。
0:36:45	それじゃウエキさん。
0:36:51	はい。
0:36:53	規制庁ウエキです。
0:36:56	資料のパワポの資料ですね、
0:37:02	NS方向から001回02の資料の30ページ。
0:37:08	お願いしたいんですけど、30ページ以降に4件追加今回されているという説明がありましたけど、
0:37:19	これ、
0:37:21	この4点のうちですね30ページの配管の支持装置、
0:37:28	に関しては、結構
0:37:33	大きな項目間とあってまして、
0:37:36	これについては設置許可段階では上がってなかったんですけども、懇談会でこれが上がってきた理由っていうのを説明お願いします。
0:37:51	中国電力タムラです。
0:37:55	はい。
0:37:57	今日も許容荷重を
0:38:01	寄付これまでの工認から変更するということで、重要な項目だと認識しております。そうなんですけども、一応議案具とかの4Fとか3Sの休日の体系で許容されている応力
0:38:18	には従って設計しますので、そういう意味では設置許可段階で等での変更点と上げる必要はないと考えまして公認段階で御説明

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:30	するのが適切だと考えてちょっとこの段階で
0:38:36	出させていただきました。以上です。
0:38:40	規制庁わけです。ジャック 460 うちに従って評価するということで設置許可段階では回っていなかったということで理解しましたので、別途これについてはご存知のように
0:38:56	女川先行の女川でもですねまだ論点として上がっていて、懇談会で審査会合で審査。
0:39:07	もうされておりますので、ちょっと伺いたいのは、
0:39:14	物量とこの評価を適用する物量っていうのはどれくらい
0:39:20	全体の中の全体の / うちの何割とかそざっくりで結構なんですけど、ちょっとその辺りを教えていただきたいんですけど。
0:39:42	中国電力タムラです。
0:39:47	今、実際の設計はこれで見直した。
0:39:52	許容値評価中で設計を進めております。
0:39:59	従来の設計、
0:40:07	ウエキさんがおっしゃられたのは従来の設計で
0:40:12	今NGなるけども、西縁評価だと0になるものはどのくらいかというご質問だと理解しましたけれどもその数はアークして、今、今しておりませんので、ちょっとまだいろいろ席順ところはある。
0:40:29	ので正確にはお答えはちょっと難しいんですけども、必要であれば、ちょっと
0:40:35	数をちょっとどのくらいあるかっていうのを当たりたいと思っております。以上です。
0:40:41	規制庁行くケースもよろしくをお願いします。これについては弱 4601 に従っているとはいえ、スナバのずっと今日限界というのを従来から建設時から使っているものを
0:41:00	片理変更っていうか、拡張するものなので、
0:41:08	それを的にもですね、どれくらいそういうものがあるかっていうのをちょっと知りたいかったという趣旨です。よろしくをお願いします。
0:41:15	それともう 1 点 32 ページの復水器の評価の件なんですけど、これは建設時はBクラスで
0:41:31	津浪のを溢水対策のために今、S s に対する評価水質等の評価を行うっていうことなんですけど。
0:41:43	これはその復水器について、支持部の改造等はこれは実施されているんでしょうか。
0:41:54	中国電力タムラです。はい。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:58	それ政府で評価しますとヒブ復水器の下部になりますけども、
0:42:05	等が
0:42:06	補強が必要ということになっておりますので、概ね潜航キート同様な改造工事を
0:42:16	実施設計しているところです。
0:42:18	それと一つ先ほどの
0:42:22	C構造物の許容荷重
0:42:25	についてのコメントですけれども、回答はこのパワーポイントではなくて、コメントに対する回答のそういう資料2系統概ねどのぐらいというそういう形で御回答させていただいたのでよろしいでしょうか。以上です。
0:42:41	規制庁規制、特に資料資料ということではなくて
0:42:48	口頭でもう回答いただければよかったんで、大体概略は理解しました。
0:42:57	ありがとうございます。私からは以上です。
0:43:01	。
0:43:02	規制庁てるほか何かございますか。
0:43:10	チギラさん。
0:43:14	規制庁チギラです。すみません。19ページの、ちょっと個別の話で、防波壁
0:43:22	なんですか。2ポツ今後の説明予定の最初の一目の矢羽のところ、ここは地盤の解析用物性値の話をしていて、それでその説明図書っていうのが津波への配慮に関する説明書
0:43:39	通って合ってるんですけど、この等には多分、地盤の支持性能が含まれてるんですけど。
0:43:45	どちらかというところの地盤の解析用物性値の話を図面であれば、地盤の支持性能、
0:43:51	もうちょっと表に出したほうがいいのかと。
0:43:54	思うんですけど、その辺りは、
0:43:57	いかがでしょうか。
0:44:01	はい、中国電力の清水です。おっしゃる通り、ここの、こちらの頭にはですね、地盤の支持性能における防火駅の特に地盤関係の解析用物性値の御説明をする予定で書かせていただいております。
0:44:18	従いましてその辺りが、こちらで読めないかなと思いましたが、反映したいと思います。以上です。
0:44:28	はい、規制庁チギラです。他の資料とかを見ていくと1月に説明する予定のものはその地盤関係物性値関係の話なので、ちょっと別の読みづらいなっているところがあったので、ちょっと修正をしていただければと思います。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:46	はい。私から以上です。
0:44:50	ほか、いいですか。
0:44:54	規制庁の義崎ですとかからの変更のところではパワーポイントの 27 ページ。
0:45:02	先ほど説明でベント管の施工誤差で 1 メーターが 0.9 変更するとあるんですけども、これ矢羽の二つ目のところでベント管の下端は、必ずしも床面 1m ではないって言って、最終的には 0.9 に変更するっていうんですけども。
0:45:19	このベント管の下端が 0.9 で設定値も 0.94 から同じ高さにする。
0:45:27	下端の高さと計器の取り付け例えば同じって言うそういう意味でしょうか。
0:45:35	中国電力の内藤です。ベント管の下端高さは、
0:45:42	計画と違いますか図面上と違いますかそれとプラス 1.0 メーターなんですけど、施工公差ございまして、それも低いところ。
0:45:52	0.9m は高いところなんですか。
0:45:54	そういう間にあるという。
0:45:56	現場で確認しておりますでそれよりも低い 0.9m にしております。以上です。
0:46:02	傾聴に積載今説明でわかりましたとハタの高さとそのぶつけた方があの関係がよくわからなかったんで、説明を求めまして、その次のページの株数の設定値化ベンチの変更なんですけども。
0:46:18	これ結局児童なのでなろうからワイドに切り換えてしまうということなんですけども、自動境界のタイミングがこれ何%だったんですかね。
0:46:34	。
0:46:35	ちょっと詳細の本社から回答いただけますか。
0:46:38	はい、中国電力のフクマです。少々お待ちください。
0:46:50	中国電力のフクマです。ナローレンジからワイドレンジの切り換えにつきまして、4.6% でワイドレンジ切りかわる設定でございますが、もともとはですね、本当は 4.6% で切り替わる設計でございます。
0:47:05	以上です。
0:47:07	規制庁の移籍するヤマモトが出てた 4.6 なので、今回の変更後には切り換えらなくて、正常になるのではかれるということで理解しました。私から以上です。
0:47:24	規制庁テルイですほか、
0:47:28	規制庁のです。パイプ資料の 13 ページについて、確認します。
0:47:35	矢羽の二つ目の今回工認では評価の一貫性の観点からと書いてあるんですがこの評価の後を一貫性の意味がちょっと計りかねたので、説明をお願いします。
0:48:00	中国電力の田村です。13 ページで教育の設置許可、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:09	令和
0:48:10	倒壊不利なところで同和FEMモデル、却図書ボルトで逆と梁モデルになってまして、同じ
0:48:21	一つの機器を評価するに応答解析が異なると。
0:48:31	日整合した荷重と二つの解析をやると、二つの荷重を持つことになりまして、ちょっと整合性。
0:48:39	が取れないと。
0:48:41	考えましてそういう整合性がとれない。
0:48:44	取るようにという意味で言えば、一貫性の観点からということで、応答解析は、今回工認では
0:48:53	ちょっと設置許可段階どうから改めまして、議案隙間たはりモデル、同じ機器を評価するには同じよとかいう、一つのポート解析で各部位の荷重を出して、
0:49:04	その荷重を用いて、共同評価をするということにさせていただきましたが、そこを一貫性という表現にさせていただいております。以上です。
0:49:15	わかりました。ちょっとそのことがもう少しわかるように説明、記載を拡充していただけますでしょうか。
0:49:23	了解いたしました。
0:49:25	あと規制庁Sえっともう1点16ページなんですけども。
0:49:32	ちょっと難しそうなんですけど、矢羽二つ目の2ポツ目で30粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法について、日改革制度が存在する云々かんぬんで、時間的評価の方法の詳細って説明があるんですけど。
0:49:49	これわかりにくいんですけど、簡単に説明することって難しいんですか。いかがでしょうか。
0:50:05	はい、中国電力のク라마スです。
0:50:07	ちょっと簡単に御説明できるかわかりませんが、通常配布一般的な、この衛星ダンパを設置しない範囲関係の地震応答解析におきましては、
0:50:20	また書くかというような処理を行いまして、はい解析計算を行っております。一方この30粘性ダンパを設置いたしますと、ダンパーによる減衰が付加されますので、そういった体格かというような処理ができませんと。
0:50:35	いうのをまず引いた各成分が存在するということで記載をしております。で、そういったヒーター改革成分が存在するような連立方程式になりますけども、それをモード空間の式モード空間での運動方程式に対して記載の通りですけれども時間積分を行って、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:53	応答を算出するというような手法を採用しておりますので、その辺りの詳細を今から詳細設計のご説明の中で御説明していくというように考えてございます。
0:51:05	規制庁鉛直動タムラです。ちょっと補足させてください。簡単になるかどうかわからないですけども、普通スペクトルモーダル解析するときで1次モードにモード3時モード。
0:51:17	での応答を求めると思いますが等が来連成一次モードの応答がどうだから2次モードの応答が、
0:51:26	どうなるとかそういう影響は受けない非連成、
0:51:29	としております。
0:51:31	それはまあそこで郵送数式的に言うと、その日対角成分が存在しないということで、そういう
0:51:38	各モードが独立しているとして扱って、
0:51:42	まず、それが妥当となります。ただ、
0:51:44	減衰が大きくなると、それが来連成として扱うのが金利でき正確ではなくなるとい意味で聞きたい各成分が存在するという表現にしておりますので、この表現は設置許可段階で5A棟解析方法を御説明させていただきましたけども、
0:52:02	詳細設計段階でもう少し詳しく丁寧に御説明するようにということで、ここに記載しております以上になります。規制庁です。
0:52:15	わかりましたとは言わないんですけどわかりました。では簡単に書いてくださいって言いたいんですけど多分簡単にならないんですけど、逆にこの概要資料で、ここまで細かく書く必要もあるのかなと思ってまして、
0:52:29	この細かいさっきの料率退学行列
0:52:35	じゃないという話は個別のヒアリングで聞こうと思いますので、ここではもっとなんか簡単に何か。
0:52:45	事象と解析の手法の妥当性についてとか、納めてもいいのかなと。
0:52:53	思いましたが1回、いかがでしょうか。
0:52:58	中国電力の田村です。了解しました日大学生分と辞めてダンパーを用いた配管系の回復費用の妥当性について説明するとかそういうふうなわかりやすい記載にさせていただきます。以上です。規制庁のです。ありがとうございます。以上です。
0:53:20	どうぞ。
0:53:26	規制庁大柿です。資料13ページ、先ほどオオノからコメントあった件なんですけど、ちょっと確認したいんですけど、この中で表1でですね、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:42	応答解析方法として今回工認の欄で時悪しきまたははりモデルというふうになっていますので、
0:53:52	事案複式っていうのは、時あごに載っている理論式っていうか手計算でやるやつで、
0:54:00	梁モデルは払い戻しはりモデル、
0:54:05	重力式ではなくてはりモデルで等々改築やるっていうことだと思んですけど、ここでまたはと書いてあるのは、
0:54:15	熱交換器によって土地顎式を使うものとかはりモデルを使うものがあるということ、またはっていうふうになってるんでしょうか。
0:54:36	はい、中国電力イシガキです。はい、後御説明の質問の通りですね、熱交換器によってJR式を使うものと、あとはりモデルを使うものへと二つあっていうことでまたを書いています。以上です。
0:54:50	規制庁域です。
0:54:52	ちょっと細かいことは
0:54:56	別途確認しますが、これ使い分けっていうのは何かあるんです。
0:55:09	はい、中国電力イシガキです。蛇口式の中には熱交換器の客の数が200になっているものっていうのがベースになってるんですけども、三脚のものが今回ありましてそのときには、JAB式をそのまま使えませんので、梁モデルで評価をしているということです。以上です。
0:55:29	規制庁域ですねと、わかりました。はい、ありがとうございます。
0:55:41	規制庁の服部です。事実確認をさせていただきます。ノポイントの19ページです。
0:55:48	表1の主な論点、
0:55:52	の逆Tを併記
0:55:55	の三つ目のポツ、
0:55:57	この最後のところに品質管理とありますけれども、
0:56:01	これ何の品質管理が論点になってるんでしょうか。説明ください。どうぞ。
0:56:10	中国電力シミズです。こちらグラウンドアンカーのモデル化を
0:56:16	二次元フレームの中で取り込んですることを鋭意準備しておりますが、そちらの健全性評価を行うとともに、施工時の品質管理として、引張力などを確認しておりますので、その辺りを御説明していく予定でございます。以上です。
0:56:37	はい、規制庁の服部です。グラウンドアンカーの品質管理ということで理解をしました。
0:56:43	あともう1点なんですけれども、
0:56:45	当会02の
0:56:49	表の中にA3の横のやつですね。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:54	ちょっと各所に下線が引いてあります。これ前回確認したかもしれませんが、この河川の意味合って何だったか、説明してください。どうぞ。
0:57:04	中国電力の内藤です。
0:57:07	この下線につきましては、
0:57:12	指摘事項の中でとか、
0:57:14	指摘事項だけですかね、河川指摘事項の中で普通複数の話が入っている場合は、該当するところについて下線を引いております。
0:57:25	以上です。
0:57:28	規制庁の服部です。ええとパワーポイントに書いてある論点の該当箇所を下線で引いてるという理解ですか、そうではない。
0:57:41	中国電力ナイトウです。
0:57:43	パワーポイントに
0:57:46	こう書いてあるものにつきましては、NSにほか 002 回 02 の一番右の
0:57:53	別。
0:57:54	主な説明事項とのひもづけここがパワーポイントの
0:58:00	1 - 1 シリーズ、
0:58:02	主な説明事項 1 率と整合しているものでございます。
0:58:07	なので必ずしも
0:58:09	河川が
0:58:10	1 ページ目の 2 から
0:58:13	2、 2 コメント なんぼ No.2 とか、主な説明に行っていないので、
0:58:19	そういうことか。
0:58:20	リンクしてるものでございませぬ。以上です。
0:58:23	だと規制庁の服部です。その通りだと思ってまして例えばちょっともう少し具体的に確認したいんですが、
0:58:32	No.4、
0:58:33	このまた以降の特別な検討における誘発
0:58:37	地震動に対する考え方について説明することと同様に下線が引いてあるのは、
0:58:43	具体的に言うとどうしてなんですか。
0:58:50	中国電力ナイトウです。本社から回答いただけますか。
0:59:06	中国電力のオチアイです。どこのコメント
0:59:10	4 については、その上にナンバー 2 のところにも同じコメントを書いておりまして、これが

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:19	令和2年1月21日の審査会合でいただいたコメントで同じかな17番ということで設置許可時のコメントナンバーを整理しておりますので、この77番のコメントの内容といたしまして、前半部分のところと、また以降のところと、
0:59:35	分けておりました、それぞれ前半部分につきましてはNo.2のところと、右の概要で今回の工事計画認可申請における説明方針としては、ここに記載している通りです。で、後半のまたについては、No.4のところと、
0:59:51	それと右側のところで、今回の工事計画認可申請における説明方針ということで、いわゆる上下動の影響を確認し説明するというところで、それぞれ対応方針が分かれていますので、と二つに分けて下線を引いて、それぞれ対応するコメント内容と、
1:00:07	当社の回答方針分けて記載したものです。以上です。
1:00:11	はい、規制庁のハットリスあの表の記載方法について理解しました。ありがとうございました。私から以上です。
1:00:20	規制庁のウタガワです。パワーポイントの16ページのところなんですけれども、下の2ポツの今後の説明予定の二つ目の矢羽のところと、
1:00:31	被水相関取りクレーンの設置する単軸粘性ダンパの解析について、
1:00:37	前回資料に比べてかなり遅れがあるように思え見えているんですけども、何か。
1:00:44	問題があって遅れたのでしょうかその辺り御説明ください。
1:00:54	中国電力の田村です。
1:00:57	大きな問題があったわけではないんですけども、まず取水槽の応答を使うので、取水槽の応答
1:01:07	の提示時期がちょっと当初見込んでたときより遅れたので、それでまずスタートが遅れていることと、時刻歴解析するので、津浪の数だけとかいろいろ解析ケースが多いので、
1:01:23	それでちょっと時間がかなり時間かかるということで、これでおりますスペクトルモード解析だったら崩落して一つで済むんですけども事故で回復期ということでちょっと時間が
1:01:34	大きくなってありますあとまあクレーンということで積みとかの位置によっても、あの解析ケースがあるので結構かなりの回復ケースがあるので、遅くなっているということです。以上です。
1:01:46	ウタガワです。その確認ですけども、入力自体も、
1:01:53	何か決まっていなとそういう理解でしょうか。
1:01:58	中国電力タムラで不取水槽の上で、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:04	あるものなので給水その音を使って解析いたしますで取水層の応答が今回の2回補正をちょっとおくらせて12月にさせていただきますとおりますけども、
1:02:16	奥州水素濃度が出てくるのが、の最終的なは後任の最終的なフィックス版でフィックスした。
1:02:24	波を使わないといけないので等を使えるようになるのかちょっと遅くなっているということです以上です。
1:02:33	また、以上です。
1:02:37	。
1:02:43	規制庁意見です。
1:02:45	ちょっとスケジュールのところでは1点確認させていただきたいんですけど、
1:02:52	NSつうのほかの003。
1:02:55	会議02のA3の資料で、
1:02:59	4ページ。
1:03:03	お願いします別途これの真ん中よりもちょっと上のところにですね
1:03:09	6-2-1-7の設計及び以下応答スペクトルの作成方針とか、その補足説明資料、
1:03:17	というのがありますので、
1:03:19	ちょっとですね下から4分の1ぐらいのところには6-2-2-1で、
1:03:28	炉心圧力容器の基礎の地震応答計算書とその補足説明資料がありますので、この二つの図書については、設備の設計の
1:03:43	床応答スペクトルとか地震力のもとになる基本になると相だと思っんですけども、
1:03:51	それちょっと確認したいのは、この説明時期、
1:03:56	が
1:04:03	有効とスペクトルです12月初め、
1:04:06	とかにあって、
1:04:08	データの連成系の解析はもうちょっと等、
1:04:14	1月中旬ぐらいですかというのがありますが、それとは別に原子炉建屋のですね地震応答解析とか、その補足説明資料っていうのがありますが、ちょっと長くなって申し訳ないんですけど
1:04:31	要はこの設備の設計で使う時の地震力に
1:04:37	設定するこれらの図書、
1:04:41	に関して、
1:04:42	はいいろいろ基本ケースとかばらつきケースとかというのが設定されてそれっていうのは

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:51	建築建屋側の地震応答計算書のほうで確認のそれと思うんですけども、その結果によってはですね応答スペクトルとか、連成解析、
1:05:02	で、考慮する解析ケースとか、
1:05:05	設計地震力で用いるケースとかが変わる可能性もあると思うんですけども、その辺りのスケジュール感というか、進め方っていうのをちょっと教えていただきたいんですけど。
1:05:38	中国電力のオチアイです。まず建物のほうの絵と床応答の説明時期について御説明させていただくと、このスケジュール表。
1:05:46	- 4 ページ下からですけど先ほど言われた減少建物につきましては、1 月、
1:05:54	ただ、
1:05:56	ちょっと現象建物についてはと耐震計算書との関係もあるということでちょっと前回ご指摘いただいたので、少し長さを延ばしておりますけども、所一応今 7 月まで。
1:06:06	後ろのほうは長さを何かちょっと引いておりますけど、どちらからでもこれのうちの前半で御説明させていただきたいと考えてます。それから他の建物につきましては、次の 5 ページになりますけれども、
1:06:19	資料。
1:06:20	今後が 6 - 2 - 2 - 5 で、制御室建物、これが 1 月の中旬ぐらいから、今 4 月の中旬まで引いております。以下同様に、2 - 2 - 7 でタービン建物の 2 - 2 - 9 で廃棄物処理建物、それから 2 - 2 - 11 で、
1:06:37	緊急時対策所、それから 2 - 2 - 13 でどう排気棟それから 2 - 2 - 16 でタービン建物ですけども。
1:06:45	これらについても、1 月から
1:06:49	5 月の中旬、4 月の終わりから 5 月上旬ぐらいですね、この辺りで準じてと応答解析のほうを御説明させていただきたいとまず考えております建物に関しては、まず以上です。
1:07:02	中国電力のクラムスです。域配管系の側の設計条件としての御説明としましては、今のスケジュールの資料 4 ページの絵と真ん中上辺りの 6 - 2 - 1 - 7 設計を床応答スペクトルの作成方針。
1:07:17	まずこのスペクトルそのものにつきましては、スケジュール表の記載の通り、建物構築物ごとに 3 回に分けてご提出させていただくように考えております。その方針の中身の御説明としましては、今 12 月の
1:07:35	初めのところに補足 027 - 1 のところでは を打たせていただいておりますけども、
1:07:43	設定の方針、考え方。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:46	そういったところを背弧のタイミングで御説明させていただきたいというふうに考えてございます。また先ほどウエキさんおっしゃられました通り、建物側等の審査によってはまたいろいろ解析ケース等ご議論あると思いますので、その辺り反映が必要であれば反映していくということになるかと思っておりますけども、一旦は、
1:08:05	当社として考えております方針に基づいて御説明をしたいというふうに考えております。以上です。
1:08:13	規制庁域です。
1:08:16	建物と機器をWet先へ行こうとするとのスケジュールは加力理解します。ちょっと1点確認ですけど聞くまでも用いる床応答スペクトルとかの連成系の地震設計用の地震力
1:08:32	というのは、ある程度マージンを含めて設定したものなのかそれともばらつきケースも含めて、それを包絡してな待ちというか、特にケースバイとかせずに設定するものなのか。
1:08:49	ていうところをちょっと教えていただきたいんですけど、先行プラントですと、プラントによっては少し余裕を持って設定する場合があって、その場合は、建家側の
1:09:03	ばらつきケースとか、多少変わった場合でもですね、そこで吸収されて設計用地震力はそのまま変更せずに使えるとか、そういうやり方をやってるプラントも、
1:09:15	あるんですけど、島根の場合はどういうふうに
1:09:20	えっとやろうとしてるんでしょうか。
1:09:25	中国電力のクラスです。
1:09:28	詳細は12月に予定しております床応答スペクトルの説明の中で御説明したいと思っておりますけども、概略としましては、島根としては、と設計用の床応答スペクトル、設計用の振動というものを絵と二段階に設定することを考えておまして、
1:09:45	今はいうウエキさんおっしゃられましたような何倍かという係数倍をしたような余裕を持って条件を設計用のスペクトルに基づくそういった係数倍してないんですけども不確かさ、ばらつきケースを含めて行楽させたような条件を設計用スペクトル1、
1:10:01	といった形で二段階に設定する方針を考えております。以上です。
1:10:07	規制庁ウエキですが、よくわかりました。私からは以上です。
1:10:23	規制庁てるそこ
1:10:24	これも、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:26	だから、
1:10:29	規制庁ナグラです。
1:10:34	先ほど、
1:10:35	ウエキのほうで少し指摘していたところに関連するんですか。
1:10:39	スケジュールが記載されたし、3表の4ページ。
1:10:49	ここだけちょっとおかしいなと思ったのは、
1:10:53	下のほうの一番下のほうですね、原子炉建屋の耐震性についての計算書、
1:10:59	のところの
1:11:01	赤の破線の長さなんですけど。
1:11:05	その下の補足説明資料の中で特に隣接建屋の影響に関する補足説明資料が、
1:11:13	来年の7月に出て来てそこで上の赤破線が止まっているんですけど。
1:11:20	隣接建物の影響に関しては今回、
1:11:25	この 等の特異性として、
1:11:29	様々な応答解析手法を使っているんで、そういったことも踏まえて隣接建屋の影響をどう評価するかっていうところは、
1:11:38	少し中身を慎重に確認しないといけないところがあるので、この破線がこれ切れてるってことは出したら終わりですよみたいになるんですけど。
1:11:47	これは8月の所水平2方向と同じように突き抜けるんじゃないですか。
1:11:58	中国電力のオチアイです。先ほど御指摘のところはご指摘の通り、
1:12:03	これはと思いましたが、ちょっとまず最初に作ったときの考え方としては減少建物の耐震性についての計算書を一応想定として、ここまでで説明をさせていただいて、それらも踏まえて、隣接建物の影響検討の補足説明資料ここで出して
1:12:20	そこからまた当然これについては御説明させていただくと考えておりますけど、どこどこにその線を引いておくかというのがなかなか難しかったところがありまして、ちょっと上のほうは波線がちょっと切れたような形になっておりました。
1:12:35	御指摘もありましたので、ここについては減少建物の耐震性のところで代表して気になるかもしれませんが、ここで取出建物との関連も踏まえ、
1:12:46	8000 ちょっと延ばさせていただき、睡眠2方向と同じようにですね、延ばすしたいと思います。以上です。
1:12:54	規制庁のナグラです。
1:12:56	わかりました。ここで残していただけるということで理解しました。
1:13:01	あとそのちょっと上のほうにあるんですけど。
1:13:05	補足 023 - 2 っていう代表性網羅性の資料、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:11	これは
1:13:14	5月に出てくることになってるんですけど。
1:13:17	これはおそらく、機器配管系を念頭にすると、計算書を出して再整理をしますということではあると思うんですけど、例えば建物構築物とかはそれより前に地震応答解析とか、
1:13:34	応力解析もある程度見えているのであれば、
1:13:38	ここは分野ごとに分けて出したほうがいいんじゃないかと思うんですけどいかがでしょうか。
1:13:46	中国電力のオチャイです。これについても先ほど言われた通り機器配管系とかも含めて全体として、ここで稜5月に書いておりましたけども、ご指摘の通りちょっと分野別に分けて早く出せるものを早く出すような形でちょっとわかるような形に整理したいと思います。以上です。
1:14:05	もちろんナグラです。わかりました。
1:14:08	この辺はこういうところは多々あるんですけど分野ごとに効率的に説明する上で一緒に説明するものという時期があると思うのでそれをちょっと反映していただければと思います。
1:14:23	すみませんあとパワーポイントの、ちょっと15ページで事実確認をしたいと思います。
1:14:30	この15ページのところは漂流物の衝突荷重の設定ですけれども、その概要の三つ目の矢羽のところ、
1:14:38	と漂流物対策工の設計方針構造仕様に言及してるんですけども、
1:14:45	先行の例えば女川とかの相違点ということでちょっとその観点でお聞きしますけれども、
1:14:52	漂流物対策工の設計は、
1:14:56	女川とかでは弾性設計を表しているんですが、このサイトのこのフローの中身を見ると、注記2番とかにも表現しておりますけれども、
1:15:08	非線形構造解析に基づき照査を実施と書いてあるので。
1:15:12	設計のクライテリアとしては女川とこの弾性範囲の設計ではなくて、
1:15:19	蘇生器の解析手法を使って塑性域の
1:15:24	設計クライテリアを用いるということで考えているんでしょうか。いかがでしょうか。
1:15:34	はい、中国電力シミスです。まずこちら、図1の米2のところに記載しております非線形構造解析Aで行う予定のものにつきましては、設置許可でも御説明したかと思いますが

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:51	衝突荷重を取り出すという目的で行うものでして、こちらで、そのまま漂流物対策工を評価するというふうには今のところ考えてございません。ただ影響限界につきましては、こちらも設置許可での御説明の方針の通りですが、
1:16:11	一部塑性化するというようなことは考えたいと思いますが、いずれにしても防波壁機能概ね弾性というところは守れるようにしていきたいと思っております。以上です。
1:16:25	規制庁のナグラです。わかりました。
1:16:29	許可のところでは確かに部材によっては設計のクライテリアを
1:16:37	少しなんていうのが現実的なものにしてそれに対応するという事は聞いているんですが、
1:16:46	これ先行との違いとかになるので、
1:16:49	そういう意味では交付雇用これがここに書いてある内容のところが多分特異性があるのであれば、
1:16:56	その旨わかるようにしておいたほうがいいんじゃないかと。
1:17:01	考えますがいかがでしょうか。
1:17:04	はい、中国電力のヨシツグでございます。今ナグラさんがおっしゃられた通り、許容限界の考え方、
1:17:12	特に対策工のところと、その背面にある防波壁のところの屋根の許容限界のところの設置許可でも同様な説明をしております。ちょっとここではそこがあまり読み取れなくて先行との差異がわかりにくい表現になっておりますので、
1:17:28	少し追記をさせていただきたいと思っております。以上でございます。
1:17:32	規制庁のナグラです。今回は漂流物衝突荷重の設定のところでは発言をいたしましたけれども、
1:17:40	それ以外の箇所においても、先行炉との相違点、
1:17:46	というものがあって説明を重点化しないといけないところがあるものについてはすでにそもそもそういう観点で記載している箇所もあるんですけども、
1:17:57	ただ単に言及しているだけで、本来そこに説明のポイントがあるもの。
1:18:04	それがもしあるのであれば、それはみずからの資料に表現するようにしてください。
1:18:11	何でこういうこと言うかって言うと、計算書が出てきてから、
1:18:16	よく見ると、ここに新規制があるとかそういうものがポロポロ出てくるんですけど。
1:18:23	そういうものに関してはこちらが指摘したらそうですねではなくて、
1:18:29	みずからここにこういう論点がありますサイトウの違いがあつてということの説明をみずからちゃんとすると。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:38	そういうところを重点的に意識して今後説明をしていただきたいと思います。
1:18:46	以上です。
1:18:52	中国電力のアピルです承知いたしましたそこら辺しっかりですね、踏まえてですね御説明していきたいと思います。よろしく願いいたします。
1:19:02	規制庁ウエキです。まずちょっと追加なんですけど、そう。
1:19:07	スケジュールの資料で4ページ。
1:19:11	それ先ほどナグラの方からお話のあった。
1:19:17	補足 - 023、23 - 2。
1:19:21	の時工認との相違点の整理の資料なんですけど、これに関しては、手法とか対象設備の話なので、特にその計算が終わってなくてもこれは機器側も
1:19:39	ある程度出せる話だと思ってまして、あと設置許可段階で、これってある程度まとまっていると思うんで、その見直し、
1:19:51	も含めた話だと思うんで、これは機器側も含めて早くできるんじゃないかと思うんですけどいかがでしょうか。
1:20:01	中国電力の田村です。
1:20:04	現在、承認しているのはそういう意味ではちょっとすべて御説明してそう最終段階としてまとめた費用を出すを統合提出する時期として、
1:20:17	と記載しております。
1:20:19	仰られた通り、
1:20:23	ですので、
1:20:27	ちょっと出し方考えさせ、
1:20:29	ていただきますけども、基本的には設置許可のときにお出しさせていただいた上でたもので、それにちょっと一部変更があったり、あと、その時は設計が固まったもので、変更とか、そういうのはちょっと少しあると。
1:20:44	部だと考えておりますので、
1:20:46	ちょっとここは最終段階としてのところで書いてマル書いておりますのでちょっと資料の出し方はまた検討させてください。以上です。
1:20:57	規制庁大柿です。お願いしますの先行プラントでもですねこの資料に関してはかなり早い段階で出していて必ずしも全部あの確定していなくてもですね、ある意味では、
1:21:13	定期的にかう
1:21:15	改定をかけて'案出してもらってその中で、漏斗の論点だの有無っていうのも各本人できるできると思いますので、この資料は先ほど言ったように早めに出していただきたいと思います。
1:21:33	それともう1点なんですけど、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:38	スケジュール表に補足説明資料、
1:21:41	が幾つか書いてあって、これは現状では柏崎とか東海で出しているものをベースに
1:21:52	書いてあると思うんですけど、最新の女川ではですねさらに短少し追加して補足説明資料を3がつくられているものがありますので、女川の補足説明資料も、
1:22:09	見ていただいて必要に応じて追加していただきたいと思います。それで、あとですね今言った女川に関しては、
1:22:21	硬質岩盤サイトで設備側の設計を地震力はかなり大きいってということと、あと、
1:22:28	格納容器の型式は同じ今回ということで、かなり似通ったプラントだと思いますので、女川の審査実績とか状況をよく確認していただいて
1:22:44	工認の審査っていうか資料を作成に臨んでいただきたいと思いますがいかがでしょうか。
1:22:53	はい、中部電力タムラです。はい。特に綺麗に
1:22:59	島根と女川の類似点多いと思っておりますので個別看板ということで大変については、そのような認識をしておりますので女川の資料も見てはいますけども、追いつけないところはあると思っておりますので、それを確認して、
1:23:14	次追加していきたいと思っております。
1:23:18	村瀬の資料についても、はい。
1:23:22	ちょっとはいアップデートしていくようになると思っておりますけど、早めに御提出してそれをちょっとアップデートするような形にさせていただきたいと思っております。以上です。
1:23:31	部長ウエキです。よろしく申し上げます。以上です。
1:23:35	。
1:23:38	規制庁テルイです。
1:23:41	ほい。
1:23:44	概要のほうで何かありますか。
1:23:48	スケジュールは多分きっと皆さんいろいろ言いたいことがありそうな気はしてるんですけど、当然この場でもいいですより詳細な話は個別のそれぞれのヒアリングの中でですね、スケジュール、或いは資料提出。
1:24:03	上の時期がこの場でもいいですし個別のヒアリングでも当然調整をしていただければと思いますのでよろしくお願ひしたいとか何かございますか。
1:24:17	ですかね。
1:24:20	WEB広場さ何かございますか。
1:24:25	そうですか。の除去蒸気でしたが、それでは特によろしいですかね。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:33	はい。なければ、
1:24:36	中部電力から追加で何かございますか。
1:24:39	。
1:24:41	中国電力の内藤です。追加ではございません。以上です。
1:24:45	はい。わかりました。それでは本日のヒアリング、これで終了したいと思います。ありがとうございました。
1:24:54	或いは、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。